



一府六縣の指導船を動員 處女漁區を調査

農林省、トンボマゴロ漁獲減対策に乗出す
遠洋漁業及職の王座とも見月に至る重要期を調査せしむるべき輸出向きのトンボ、鮪を事にした、これによ

小名濱豫算町會

學務委員第一區長推薦
町臨時水道委員、選舉等

水産講習所卒業式

けふ、晴れやかに舉行
小名濱町水産講習所第三
回卒業式は今日午前十
時より縣學務部長臨席の
に水試樓上下舉行され、
榮ある卒業生左の如し(○)
印縣水産費 ●印郡水産費

夕刊
三
日八十月三
発行所 伊藤 隆次
印刷所 伊藤 隆次
電話 南町六七
日刊日曜日休刊
二部二部一ヶ月三十
廣告料一行 五十

クスリ
養生堂
小名濱町
電話一四七

女給戀の道行き

平市南町カウエーナこと
太田ヤス方女給木静江
三は十四日朝借九十四
積武男(五)と手を携へて失
踪した、郡山、飯坂方面に
潜伏してゐるらしいと女將
から平署へ捜査願

産駒品評會

入賞者決る
石城郡馬産組合では此
程中寺市場に産駒品評會を
開いたが出頭六十四頭、入
賞左の通り
(一)等三阪佐藤利三郎
永戸小野藤郎 (二)等澤
渡田子義任 三阪小平平
治 同内藤行京 永戸藤
谷庸一 (三)等澤渡草野
儀助 同阿部増雄 同三
瓶塚喜雄 三阪大石紋雄

竣工式

来月十日舉行
草野村と夏井村をつなぐ縣
道六十枚橋

花に魁けて

吉田屋(十四番)では
東都一流の板前を招聘
材料を厳選し腕に燃した
期節向きの一品料理を始めました
食通各位の御試食御批判を乞ふ
吉田屋旅館
小名濱町海岸
電話 十四番
冠婚葬祭の御會席は吉田屋へ、特に強御相談に
應じます
下番の女中さん高給で求めます

亀井商店の重油

漁業家方面に大歓迎
東北六縣に於ける重油ガソ
リン界の覇者龜井商店が
店に設けた小名濱町へ出張所
を設け積極的な営業をつづ
けてゐるが愈々小名濱町の
要求に對應重油販賣陣を敷
く事になり、近く販賣事務
所に並に陸上タンク設置の段
取りとなり本夏中には實現
すべく、漁業家方面には待
望久しく、異常な歓迎を受け
てゐる

産駒品評會

入賞者決る
石城郡馬産組合では此
程中寺市場に産駒品評會を
開いたが出頭六十四頭、入
賞左の通り
(一)等三阪佐藤利三郎
永戸小野藤郎 (二)等澤
渡田子義任 三阪小平平
治 同内藤行京 永戸藤
谷庸一 (三)等澤渡草野
儀助 同阿部増雄 同三
瓶塚喜雄 三阪大石紋雄

竣工式

来月十日舉行
草野村と夏井村をつなぐ縣
道六十枚橋

花に魁けて

吉田屋(十四番)では
東都一流の板前を招聘
材料を厳選し腕に燃した
期節向きの一品料理を始めました
食通各位の御試食御批判を乞ふ
吉田屋旅館
小名濱町海岸
電話 十四番
冠婚葬祭の御會席は吉田屋へ、特に強御相談に
應じます
下番の女中さん高給で求めます

亀井商店の重油

漁業家方面に大歓迎
東北六縣に於ける重油ガソ
リン界の覇者龜井商店が
店に設けた小名濱町へ出張所
を設け積極的な営業をつづ
けてゐるが愈々小名濱町の
要求に對應重油販賣陣を敷
く事になり、近く販賣事務
所に並に陸上タンク設置の段
取りとなり本夏中には實現
すべく、漁業家方面には待
望久しく、異常な歓迎を受け
てゐる

産駒品評會

入賞者決る
石城郡馬産組合では此
程中寺市場に産駒品評會を
開いたが出頭六十四頭、入
賞左の通り
(一)等三阪佐藤利三郎
永戸小野藤郎 (二)等澤
渡田子義任 三阪小平平
治 同内藤行京 永戸藤
谷庸一 (三)等澤渡草野
儀助 同阿部増雄 同三
瓶塚喜雄 三阪大石紋雄

竣工式

来月十日舉行
草野村と夏井村をつなぐ縣
道六十枚橋

花に魁けて

同吾妻文治 同佐藤静
同内藤利盈 同阿部佐一
永戸昭光 同青木豊房
(四)等澤渡渡邊貞美外十
三名
●樹栽培講習會 内郷村
果樹組合では来る二十日午
前十時から同村一の矢神社
で果樹栽培講習會を開く、
ら知事に陳情書を提出した
小學児童發給
新聞や先生の話を時局に發
信した箕輪村第一小學校四
年生高萩務君(三)は昨年十
二月以來納豆賣りをして儲
けた一圓五十錢を國防費に
献金すべく校長に願出て職
員たちを感心させた
▲天氣豫報
今晩 南東の風晴
明日 同

鈴木齒科醫院
院長 鈴木 正
小名濱町中町

小野町長と西丸町議並に町議諸公を町民の名に於て頌徳したい。

小名濱町小野町長並に西丸町議は昨年初夏の候より日本水素工業誘致の爲めに人知れぬ努力と苦心を續けた。當時の町民は、これを冷眼視して人ごとの如く、吾國せず焉の態度を取つて居た。敷地買収、移轉問題では流石の小野町長も大息を吐き、町民の不明を嘆嘆と事も數次であつた。その度ごとに第一線に汗みどろに働く腹心の西丸町議の剛腹に勵まされ共に勵み合つて漸く軌道に乗つたのだがその頃よりは不安氣の町議諸公も本格的に乗り出す事になり小松町議近藤町議などは委員として随分拾石的努力を拂つた。殊に移轉問題が曲折多かつた爲めに町議一同も苦心慘憺を嘗めた。しかしその苦心は酬いられた。町は劇かに明朗化して来た。小名濱市の發達は、これが第一歩と云ふ印象が町民に與へて来た。今となつては誰しも嬉しい顔をしてゐる。そこで、嬉しい顔に誘導して呉れた血みどろかね「松本氏「イヤ、それで働いた大恩人に對しては、頌徳をしなければ、いけな

は、町民の名に於て、忘恩無義の類となる。思に酬は、ゆるの心は人間最高の美德である。敢て一言する所以

るの心組で社界奉仕に盡さる、慈善を盡し人類愛の爲なければならぬ、最高のめに放資して中和を圖らな幸福に最善の不幸と一致しなければならぬ。

日の出上醬油醸造元
養老味 緑屋商店

千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
昭和火災保險株會社

耳鼻咽喉科専門
高柳醫院

宮津醫院

齒科一般
佐々木齒科醫院

内科 外科 小兒科
花柳病科 耳鼻科

北川外科

草野醫院

酒銘玉の井

寶屋藥局

小名濱町中町
電話一七三番

コークス 販賣

小松重兵衛商店

銅鐵金物一切

クスリの御用は

電話二二二番

三井生命代理店

長瀬彰義讓造元

衛生材料

電話九番九九番

電話一〇九五六番

電話一七三番

電話一七三番